

令和2年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



# 四季の森

2月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

## GIGA スクール構想とこれから育成する学力

校長 笹原 洋子

1月8日に緊急事態宣言が再発令されました。今回、学校は一斉休校とはならず、感染拡大防止策を講じながら授業等を行っています。そんな中でも季節は廻り、校庭の梅のつぼみが少しずつ膨らんできました。2月2日は立春。暦の上では「春」になります。早くコロナが収束し、本当に心が温かくなる「春」を迎えられるよう、今しばらくみんなで心をつなげて、丁寧に感染予防の行動をしていきましょう。

2019年12月に文部科学省が打ち出した「1人1台の端末」と「高速大容量の通信ネットワーク環境」を整備する「GIGAスクール構想」を受け、横浜市でもその実現に向け準備を進めています。昨年末には、横浜市内の学校で、ご家庭と「ロイロノート・スクール」というシステムを利用して通信する試みを実施しました。本校でも実施し、半数のご家庭から返信をいただきました。突然、プリントをお配りしただけでの実施だったため、戸惑われたご家庭も多かったのではないかと思います。4月以降、児童1人に1台iPadが配付されます。当面はご家庭に持ち帰ることはせず、学校で保管します。教職員で、どのような使い方をするのが有効か、研修を重ねながら授業で利用していきます。保護者の皆様には、懇談会等の機会を利用してご説明させていただく予定です。

コロナ禍で、「GIGAスクール構想」の実現の時期を早めることになりましたが、元々この「GIGAスクール構想」は先端技術を有効に活用することなどにより、子どもたちが基盤となる学力を確実に習得することができるとともに、子どもたち一人ひとりの能力、適性等に応じた学びを提供できるようになることを目指して考えられたものです。

今年度から実施されている学習指導要領に示されている、子どもたちに育成する「学力」は、昨年度までとは少し変わってきています。「知識・技能」は暗記すれば答えられる断片的な知識だけではなく、例えば原因や理由などの理解を伴った知識が求められるようになりました。「思考・判断・表現」は身に付いた知識を活用して、自分で考えたり、まとめ直してよりわかりやすく発表したりすることが求められます。「主体的に学習に取り組む態度」はどうやったらできるようになるか自分で工夫したり、人に聞いたりしながら、粘り強く努力をする態度です。これらの学力を育てていけるよう、授業を工夫していきます。

来年度になったら、実際にiPadを使って子どもたち同士が学び合える授業を行えるよう、教職員も研修を取り入れていく予定です。